

所属・資格 国文学科・助教

申請者氏名 佐久本 佳奈

研究課題	戦後沖縄文学における「金」の位相	
報告の概要	研究目的 および 研究概要	本研究では米軍と住民の間のより複雑な関係を浮かび上がらせる結節点として「金」に注目する。又吉栄喜「ジョージが射殺した猪」(1978)では、ベトナム戦時の鬱屈した下級兵士の内面の変化が分析対象とされてきたが、この作品においてアメリカのドル危機を背景とした過剰な金銭の流れは、小説の言葉の飽和状態と類似的な関係にある。さらに語り手の兵士の欲望も金銭の形をとって表れる点で新たな読解の余地がある。また崎山多美「月や、あらん」(2013)も、現代沖縄の出版状況を自己言及的に語るテキストであり、新自由主義経済における文学の価値を追求している。さらに朝鮮人「慰安婦」を記憶するための共同体を生成させる動きの中に、負債という金銭の形象が出現している点でも新たな議論が可能となる。
	研究 の 結果	日本大学国文学会では崎山多美「月や、あらん」について報告し、テキストの金銭の流れに注目することで、編集者の女性たちの「シャドーワーク」を通じた新たな生の空間の生成と、その空間において流通する愛や欲望が、決定的に受け取り損ねた声に対する倫理的な応答を駆動させる要となることを論じた。また日本研究フォーラムでは又吉栄喜「ジョージが射殺した猪」について報告し、テキストの言葉の法則をドル危機体制と結びつけながら読解した上で、それが兵士の欲望の方向づけと相似性をなすことを論じ、こうした金や欲望の流通のあり方からジョージが逸脱していることを示した。
	研究 の 考察 ・ 反省	研究は予定通り進めることができた。反省点として、学会報告の論文化に遅れが生じているため、次年度は新たな研究課題に取り組みつつ、論文化を急ぎたい。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所  研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。  1. 令和6年度 日本大学国文学会大会「他者へと開かれた幻想空間——崎山多美「月や、あらん」論」2024年7月6日(土)日本大学文理学部3号館 3403教室 2. 日本大学×清華大学 日本研究フォーラム 2024「兵士の金使い——又吉栄喜「ジョージが射殺した猪」」2024年11月2日 日本大学文理学部 3403教室  研究成果物 1. 司会大城貞俊、又吉栄喜、崎浜慎、呉世宗、佐久本佳奈「座談会 沖縄文学の現在地」『新沖縄文学』96号、2025年2月12日 2. 書評「大城貞俊・村上陽子・鈴木比佐雄編『又吉栄喜の文学世界』」『昭和文学研究』第90集、2025年3月1日	